

西浦和駅周辺



まちづくりワークショップニュース

第1回～第4回ワークショップのテーマ

第1回
◆地区の課題について

不便なところ、改善したいこと、良いところなど、地区の課題について再確認しました。

まちづくりの主役である住む人・働く人である皆さんで、これからの西浦和駅周辺のまちづくりを一緒に考えていきましょう！



第2回
◆土地区画整理事業見直しに向けて必要なこと
◆まちづくりのアイデア等

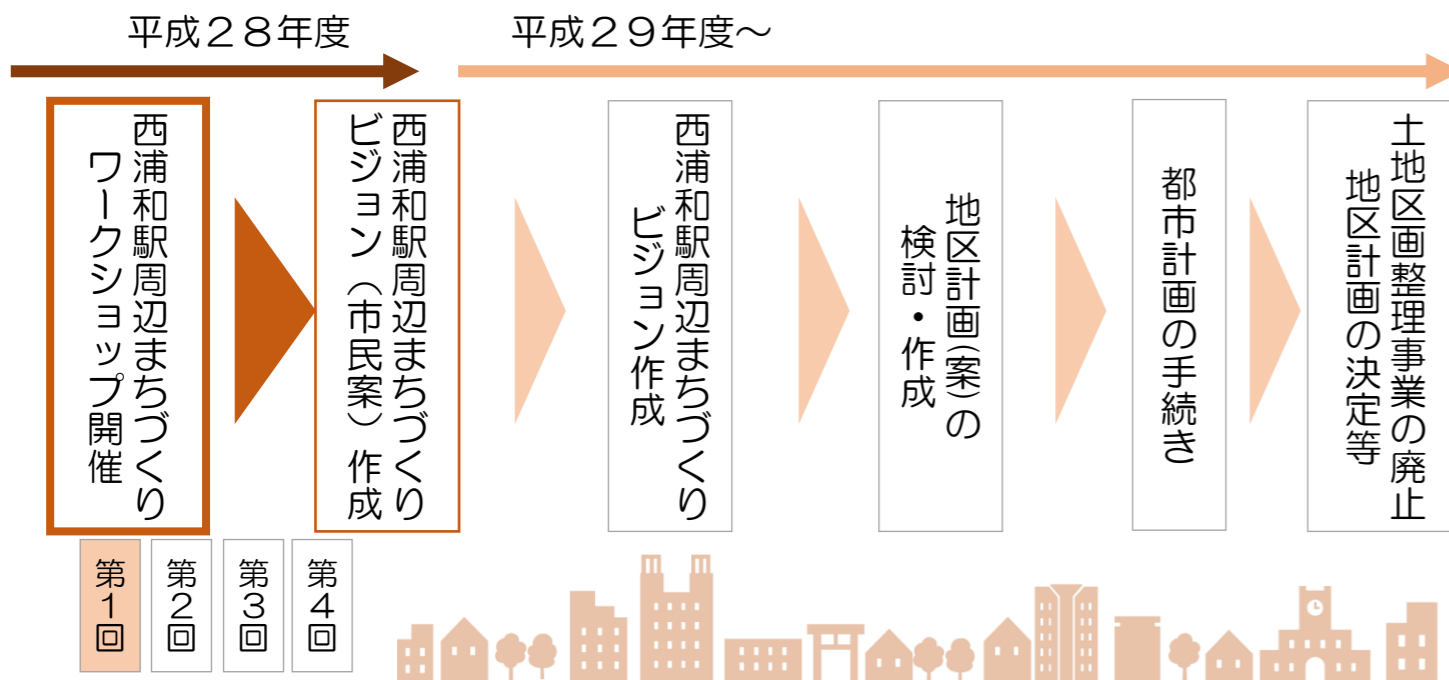
第3回
◆地区の将来像や取組みの方針
◆地域・住民として協力できることについて

第4回
◆「西浦和駅周辺まちづくりビジョン(市民案)」の取りまとめ
◆今後の進め方



西浦和駅周辺まちづくりビジョン市民案(仮称)をまとめていきます！

今後の取り組みスケジュール(予定)



問合せ先(発行元)

西浦和駅東西地区まちづくり協議会
 連絡先: NPO法人 さいたま都市まちづくり協議会内
 さいたま市桜区田島5-20-24 FC21ビル 3階
 電話 048-838-8375
 西浦和駅周辺のまちづくり担当 深井 康夫

西浦和駅周辺まちづくりワークショップが始まりました

西浦和駅周辺には、土地区画整理事業区域として都市計画決定されながら、長期にわたり事業化が出来なかった区域があります。そのため、道路や公園、生活基盤が一部未整備のまま市街化が進行しています。

西浦和駅東西地区まちづくり協議会では、西浦和駅周辺のまちづくりをこれ以上停滞させないよう、西浦和駅東西地区まちづくり検討会で作成した『夢あふれる街「西浦和」まちづくり憲章草案』をベースに、これからの西浦和のまちづくり検討を進めています。

今年度は、3つの対象地域(土地区画整理事業にとらわれない「実現性のあるまちづくりを目指すエリア」、および隣接する「田島団地」や「産業集積エリア」)から、実現性のあるまちづくりを目指すエリアを先行して、市と協働で「西浦和駅周辺まちづくりビジョン市民案(仮称)」を作成することになりました。

そこで、地域住民の意見や提案等を集約し、「まちづくりビジョン市民案(仮称)」を作成することを目的に、さいたま市にご協力いただきながら全4回の「まちづくりワークショップ」を開催します。今後、ワークショップの開催結果やスケジュールについては、「まちづくりワークショップニュース」で情報を発信していきます。

第1回まちづくりワークショップ開催!

●ワークショップの趣旨

今年度のワークショップでは、土地区画整理事業の見直しを前提とした西浦和駅周辺のまちづくりの方向性を共有し、「西浦和駅周辺まちづくりビジョン市民案」の作成することが目標であることを確認しました。

●西浦和駅周辺の現況について

西浦和駅周辺の現況について、昨年度調査の経過報告をもとに、さいたま市から説明がありました。

●意見交換(ワークショップ)

4グループにわかれて西浦和駅周辺地区の課題について意見交換をしました。その後、それぞれのグループで出された意見のまとめを発表し、課題について共有をしました。

■第1回開催概要

日時: 平成28年10月12日(水)
 15時30分～16時30分
 会場: 田島公民館
 出席者: 25人
 内容: ワークショップの趣旨
 西浦和駅周辺の現況
 地区の課題について意見交換

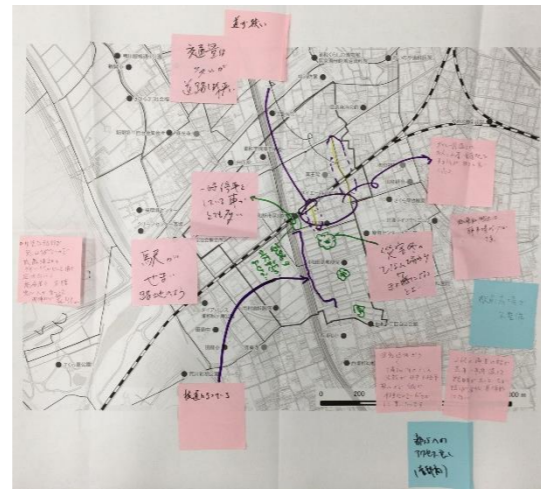


説明の様子

第1回ワークショップ主な意見のまとめ ~まちの課題を共有~

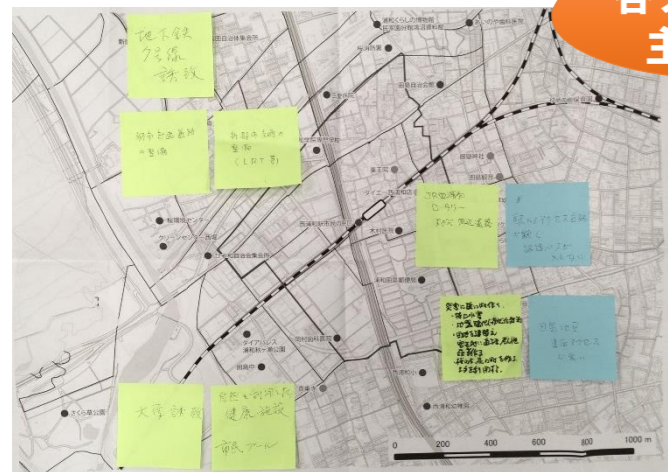


- バイパスで分断されている歩行者のスムーズな動線の確保
- 駅周辺は道路が狭く危険
- 道路を広げたい
- 大企業の誘致
- 田島団地の建替えの促進
- バスの本数が少ない
- 地下鉄かバス路線がほしい
- 大宮バイパスを高島平から大宮までつながってほしい
- むさしの号やホリデー快速の停車

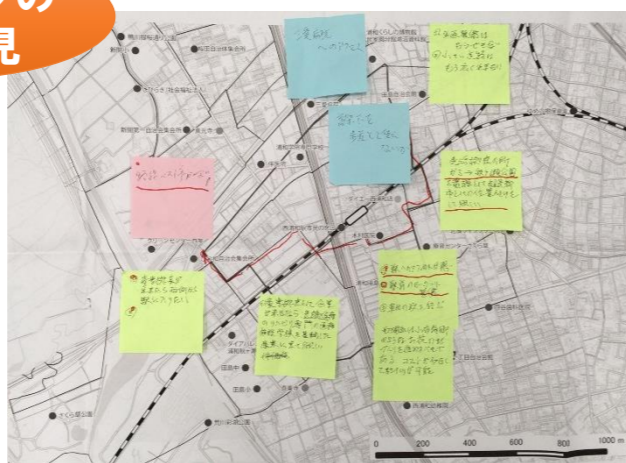


- 交通量が多いのに幅が狭い道路がある
- 駅前広場が未整備
- バイパスで送迎のため一時停車する車が多い
- 駅周辺は駐車場が少ない
- 田島団地横が抜け道になっている
- 駅が狭く、路地のようで通行しにくい
- 田島団地の公園を災害時の避難拠点に
- ダイエー通りに飲食店がほしい
- 田島団地と浦和間のバス本数が少ない
- 都心へのアクセスがよい

各グループの主な意見



- 駅へのアクセス道路が狭く路線バスが入れない
- ロータリーおよび周辺道路の整備
- 都市計画道路の整備
- 田島地区の東西アクセスが悪い
- 災害に強いまちづくりの推進
- 団地の建替え
- 空地に高齢者施設を作る
- 桜の木をメインに土手を利用した花の町づくり
- 地下鉄の誘致
- 新都市交通（LRT等）の整備



- 駅へのアクセスが悪い
- 駅前のロータリーを整備
- 西側から駅へアクセスを可能に
- 路線バス停がない
- 高架下を歩道として利用できないか
- 秋ヶ瀬公園を資源として、観光都市としての位置づけ
- 小布施町のような花のまちづくり
- コストがあまりかからないまちづくり
- 最先端医療のリハビリ専門の医療施設、学校を基軸にした産業を誘致したい
- 区画整理や道路の拡幅は難しい

駅へのアクセス

- 《自動車》
- バイパスから駅へアクセスしにくい
- 駅周辺の道路が狭く通行しにくい
- バイパスからアクセスしやすい箇所に送迎車両が一時停車するスペースがない
- 駅周辺に駐車場が少ない
- 《歩行者》
- 駅周辺の道路が狭くて危険
- バイパス西側から駅へアクセスしにくい
- 改札近くでの通行空間が狭い

地域資源との連携

- 秋ヶ瀬公園などの地域資源と連携し、観光都市としての位置づけを
- 桜区のシンボルである桜の木や桜草を活かした、花のまちづくり



周辺地域との連携

- 《田島団地》
- 田島団地の建替えの促進
- 団地内の公園等を活用した災害時の拠点づくり
- 《産業集積拠点》
- 大企業や、専門性のある医療施設などを誘致したい

防災性の向上

- 地震や水害など、災害に強いまちづくりが必要



ワークショップ（意見交換）の様子



発表の様子

- 第2回では、地域の課題をふまえ、どのようなまちづくりを目指していきたいか、どのようなまちになるとよいかなど、まちづくりのアイデアを話し合います。